

サポートページの書き方

ここからは具体的なサポートに関する記入を行います。どういう配慮があれば本人への支援がうまくいくのか、できるだけ具体的に記載してみましょう。

<記載例>

- 「トイレットペーパーは、あらかじめ切って渡せば
- うまく使えます。」
- 「手をつなげば、道路はわたれます。」
- 「横断歩道は、白いところだけを踏んで渡ります。」
- 「はし（フォーク、スプーン）を持たせれば、
- 自分で食べられます。」

□（チェック欄）があるものは該当するものにレ（チェック）してください。そのほかは（記入例）などを参考に、具体的な状況について記入します。

サポートの項目

- 一週間の生活
- ぼく・わたしが伝えたいこと
- ① よくすること・すきなこと
- ② 苦手なこと・きらいなこと
- ③ コミュニケーション
- ④ 社会性
- ⑤ パニックや発作の対応
- ⑥ 排泄・トイレ
- ⑦ 移動や外出について
- ⑧ 食べること
- ⑨ 着替え・入浴
- ⑩ 起床・就寝・身だしなみ
- ⑪ 通院
- ⑫ 理美容
- ⑬ 学習面
- ⑭ (自由項目)

上記のほか、項目があればページを追加して記載してください。

一週間の生活

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00	●7:00 起床							
9:00	●8:00 小学校							
12:00								
15:00	↑ 放課後児童クラブ							
18:00								
21:00	●21:00 就寝							
24:00								
特記事項								

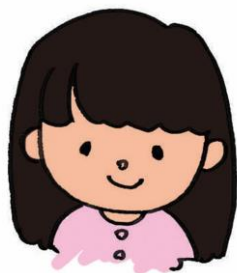
毎日のことですが、記入してみると1日をどのように過ごしているのかが分かります。

普段の就寝・起床の時間を入れておくとお泊りのときにも目安になります。

曜日での活動が決まってない場合には表は無理に書かなくても大丈夫です。その場合、特記事項に記入しましょう。

ぼく・わたしが伝えたいこと

本人の気持ちや想いをかいてみましょう。最近本人が好きなこと、興味を持っていることなどの情報も記入しておくといよいでしょう。



最近のお気に入りはお〇〇の本とか、好きなことに関する情報や、本当はこう思っているんだよといったことについて記入してみましょう。

初めから記入欄いっぱいにならなくても大丈夫！この「すてっぷのーとあゆむ」を活用するたびに、この欄が埋まっていくかもしれません。

①よくすること・すきなこと

室内

〔室内で好んですること（していること）〕

（記入例）電車が好きで、家では電車の本をみたり、DVD を見たりしています。

本人が好きなことや好んで
行うことの情報コミュニケーションをとる上でのきっかけ作りなどにも役立ちます。

配慮する
ポイント

屋外

〔屋外で好んですること（していること）〕

（記入例）外にでるのが大好きなので、ついつい走りだしてしまうこともあります。

まずは安全第一！ 夢中になると周りが見えなくなるとか車椅子利用の場合には、何かに反応して自分で車椅子を動かすなどの情報も記入すると、支援者側も支援の見通しが持ちやすいです。

配慮する
ポイント

②苦手なこと・きらいなこと

苦手なこと

(記入例) 大きな音がしていると、落ち着きません。救急車や消防車などのサイレンの音にも敏感です。

本人が福祉サービスなどを利用する際に、こんなことは苦手なんだよと事前に伝えておくことで、支援者側も注意点を把握できます。

配慮する
ポイント

嫌いなこと

(記入例) 耳元で話されると、嫌がります。大きな笑い声も嫌がります。

配慮する
ポイント

④ 社会性

よいところ

(記入例) 誰にでもやさしい。すぐに仲良くなれる。

気をつけること

(記入例) 誰とでも仲良くなれるので、警戒心がなく、誰にでもやさしくされるとついていってしまう。

社会的ルールの理解

(記入例) 大勢で参加するものにも自分のペースで参加します。まわりのペースにはなかなかあわないと思います。

⑤パニックや発作の対応

<p>パニック（日常生活でのトラブル対応）</p>	<p>発作（てんかん発作）</p>
<p>予 防 の 方 法</p>	<p>予 防 の 方 法</p>
<p>（記入例）いつもの本人の行動パターンでないことをなるべくしない。</p>	<p>（記入例）その時の体調にもよるか前触れがあったら意識しておとなしさをさせてください。</p>
<p>原因として考えられること（きっかけ）</p>	<p>原因として考えられること</p>
<p>（記入例）服がぬれたとか嫌いな歌が聞こえたとか、苦手な人（声の大きい人）と会ったなど</p>	<p>（記入例）パニック時の行動から、考えられる原因や対処方法が分かるような表となります。</p>
<p>表 現 ・ 行 動 (強さ、どのくらいの時間続くのかなど)</p>	<p>表 現 ・ 行 動 (強さ、どのくらいの時間続くのかなど)</p>
<p>（記入例）泣いてしまう。</p>	<p>（記入例）目がぱちぱちしたり顔がぴくぴくしたりしたら前触れです。</p>
<p>対 応 方 法</p>	<p>対 応 方 法</p>
<p>（記入例）濡れた服はすぐ着替える。苦手な人からは離すなど。</p>	<p>（記入例）発生時の内服薬があるので、それを飲ませる。</p>

⑥ 排泄・トイレ

現 状

(記入例) 紙パンツを使っています。これは2時間ぐらいでとりかえてほしいです。便通が悪いから、便が出たときはあとで母にご連絡ください。

配慮が必要なこと

(記入例) ズボン・パンツは自分で脱げます。うんちがでたあとの後始末は無理なので、拭いて下さい。拭く前には「拭くよ～」って声を掛けるとおとなしくしています。

⑦移動や外出について

移動手段

〔配慮していること〕

- 徒歩（一人で安全に可能）
 徒歩（安全のために付き添いを要す）
 車いす使用の有無
 有
 無
 自走の可否
 可
 不可
 その他

（記入例）歩行は自力で可能ですが、突発的な行動をとる可能性があるため、見守りが必要です。

車・バス

〔配慮していること〕

- 市営バスであれば、一人で乗ることができます。

（記入例）のりなれているコースについては、自分でつくバスに乗って移動できる場所もありますが、基本的には一緒について見守る必要があります。

電車

〔配慮していること〕

（記入例）どうしても外が気になったりするので、落ち着きがなくなりがちです。他の利用客にご迷惑とならないよう、本人が好きな本を読ませるなどすると落ち着きます。

危険回避のために工夫していることなどについてご記入ください。

〔配慮していること〕

（記入例）外出のときにはお気に入りの帽子をかぶっています。急に走りだしたりすることがあるので、注意してください。そういった場合、安全のために行動を制止してもらってかまいません。

⑧ 食べること

柔らかさや大きさは1cmぐらいなど具体的に書きましょう！

技 能	食 事
<ul style="list-style-type: none"> ■ はし・スプーン・フォーク を使って一人で食べることができます。 ■ コップを持って水を飲むことができます。 <input type="checkbox"/> 食事を自分で作ることができます。 <input type="checkbox"/> 食事の手伝いをすることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普通食 <input type="checkbox"/> キザミ食 <input type="checkbox"/> ペースト状 <input type="checkbox"/> その他 <p>(記入例) 普通食で一口大になっていると食べやすいです。</p>
すきなもの	きらいなもの
<p>(記入例) スナック菓子、いちご、のり、ハンバーグ。</p>	<p>(記入例) コーン、あずき、大豆、みかん、ゼリー。</p>
食べてはいけないもの (アレルギーなど)	

これも必須事項です。色を変えて書いたり蛍光ペンで目立つようにしておくといいでしょう。具体的に、たらかはダメとか乳製品はダメなどの方が分かりやすいですね。

(記入例) 座位が少し安定しません。足がしっかり床につかないとバランスを崩してイスから落ちこちてしまいますので、注意してください。

食事や水分補給はバギーに座らせてください。むせることがあるのでティッシュを用意しておいてください。

⑨ 着替え・入浴

着脱の状況

〔配慮していること〕

（記入例）なぜお着替えをするのか分からないと着替えをしてくれないので、「今日はみんなとお出かけするから、着替えようね」など理由を教えてくださいとうまくいくことが多いです。

本人のこだわりなど具体的な状況

〔配慮していること〕

（記入例）「早くして」と言われると不機嫌になるので、時間がかかっても一人でできることをほめてほしいです。

暑いから服をぬぐとか、寒いから上着を着るといったことは難しいことも多いものです。そうした情報も記入しておくとういでしょう。

入 浴

〔配慮していること〕

■自分で入れる

介助を要する → ヘルパー 訪問看護

施設浴（一般浴 チェア浴 特殊浴）

（記入例）慣れていないお風呂に入るのはすごくこわがります。家で使っているおもちゃをもっていれば少しは落ち着くと思います。あひるのおもちゃをもたせてください。

⑩ 起床・就寝・身だしなみ

起床 [配慮していること]

(記入例) 自分で起きることが少ないので、起こすのに時間が掛かります。起きてから目が覚めるまでに 30 分程度かかりますので、早めに起こすようにしています。

家以外での寝起き・宿泊をイメージし、お気に入りのぬいぐるみがあるか、ひとり寝ができるか? 夜間の状況・・・体位交換、水分補給など支援が必要なことなどについて記入しましょう。

就寝

おむつ使用 有 無

(記入例) 真っ暗な部屋では眠れないので、豆球をつけておいてください。夜中まで独り言を言ったり笑ったりしていますが、かまわずに放っておいてください。かまうと、本人はますます眠れなくなります。

洗面・歯磨き [配慮していること]

(記入例) 「歯を磨いてね」といって歯ブラシを渡してくれたら鏡をみながら歯磨きできます。でも仕上げ磨きをしてくれたらうれしいです。口をすすげないから歯磨き粉はつけないでください。

⑪ 通 院

病 院

〔配慮していること〕

**（記入例）救急車の音や車のサイレンなどには過敏に反応します。
注射や採血の場合には、こわがることが多いです。**

特に走り出してしまうとか、犬の声や救急車の音などでびっ
くりするとか、本人にとって怖いものなどの要因はここで伝
えておくと安心です。

通院の道中や受診先でのことなどをご記入ください。

歯 科

〔配慮が必要なこと〕

本人が安全に歯科診療を受ける上で、必要な情報など
はここにご記入ください。

⑫ 理美容

美容院・床屋 【配慮していること】

（記入例）だっこするときに脇に手を入れるのはやめてください。脇はすごく敏感らしく、本人が嫌がりますので、必ず横抱き（お姫様だっこ）にしてください。

本人が安全に理美容を受ける上で、必要な情報を書き出してみると、役立つ場面があるでしょう。

⑬ 学習面

学校での授業のとき 【配慮してほしいこと、配慮してもらっていること】

（記入例）ハサミを使うことが苦手なので、図工の授業の際には、支援員さんについてもらっています。

作文が苦手なので、国語の授業の際には、特別支援学級の担任の先生についてもらっています。

学齢期のお子さんで、担任の先生が替わった時に支援の参考にしてもらう点を記入しましょう。先生と個別の教育支援計画を作成している場合は、それ自体を「すてっぷのーとあゆむ」と一緒に支援機関の人に見せたり、概要を転記したりして活用してもよいでしょう。

⑭ 自由項目

()

()